

このメモは、傍聴者のメモです。引用等の利用は固くお断り致します。

区議会文教委員会 傍聴メモ(陳情第 184 号関係のみ)

と き : 2005 年 9 月 20 日

と ころ : 西庁舎 8 階第 5 委員会室

傍聴者 : よりよい…会関係 12 人

松村委員長:

陳情第 184 号は、読み上げをし、審議は継続審議とするが、資料請求は受け付けたい。

事務局:

陳情第 184 号 区立図書館の委託反対と図書館の充実と発展について

追加署名があったので報告する。累計 10,659。(以下読み上げ)

委員長:資料請求を。

かまた委員(共産党):

10 点あり。

練馬区在籍図書館協力員の司書有資格者数、在籍年数別の人数。

全館委託実施時(2008 年度)職員配置数(常勤、図書館協力員別に)

現在の職員配置数(常勤、再雇用・再任用、図書館協力員別に)

委託する業務を全て図書館協力員で置き換えた場合の職員配置数

業務委託の委託予測額と受託業者選定方式

業務委託の場合の地域活性化の効果の図書館協力員に置き換えた場合の地域活性化の効果の比較できる

資料

図書館資料購入費の過去 10 年間の推移と他区との比較

文字・活字文化振興法

図書館以外の部門に在籍する図書館司書有資格者の人数

23 区中図書館協議会、運営協議会を設置している区と設置条例と要綱、全国の分は前回池尻委員が請求した。

光が丘図書館長:

用意できる範囲で提出する。

片野委員(緑自治):

前(文教児童青少年)委員会で委託の資料が出されたが、その後変更がされているのか、シミュレーションがやられているのかの資料。

利用者懇談会を過去に開いて、どのようなことが話し合われてきたのかなどの状況。

光が丘図書館長:

シミュレーションとは?

片野委員(緑自治):

どういう委託のあり方がいいのか、全部委託したらどうなのか、図書館協力員にやってもらって委託したらどうなのかなどのシミュレーションをやっていたらということ。

光が丘図書館長:

シミュレーションはやっていない。

福沢委員(自民党):

陳情書の中で、他の自治体で委託が行われている中で、問題が起きていると断定的に書かれている。

住民のニーズが運営やサービス内容に反映されにくい。

業務を無理に分割して委託するため、全体の業務が円滑に進まない。

と、これは、業務に携わっている人から出てきているのかなど。そんな気がしないでもない。

委託の労働条件の低さから、専門的職員が定着しない。

利用者のプライバシーが守られない。

と断定的に書かれているが、過去、図書館の運営を委託化した自治体の中でこういう事例があったのかどうか、資料として請求する。

光が丘図書館長:

労働条件については、どの辺まで資料があるかわからないが、調べられるものについては提出する。

池尻委員(社民・市民):

前回申し上げたが、図書館法に基づく基準なので「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」と委託に当たったの仕様の基本的な考え方を。

進め方について、沢山資料を出したいのは分かるが、一方で迅速な審議を心がけていただきたいので、ぜひ早い段階で審査をしていただきたい。

委員長：

沢山の資料請求があるが、12月に今後の方向を定めて行きたいとの前回の答弁もあったので、資料が全部揃わなくても、揃った段階から少しずつでも審査が進められればと思う。

斎藤委員(公明党)：

資料は順番に出てきては、なかなか審議ができない。資料は、揃えられるものは揃えてしっかり審議をお願いしたい。

片野委員(緑自治)：

図書館の視察(区内)をお願いしたい。

委員長：

正副で検討する。

(作成 2005年9月20日 伊藤 勝)